

令和２年度 八代高等学校シラバス

教 科	数学	科 目	数学B	学 年	2	類 型	全クラス
単位数	2	教科書	改訂版 高等学校 数学B（数研出版）				
副教材	アドバンス 改訂版 数学Ⅱ＋B（啓林館）						

学習目標	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培う。また、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を養う。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達度自己評価 A B C
1 学 期	第3章 数列 等差数列と等比数列 いろいろな数列 数学的帰納法	等差・等比数列の一般項、和の公式を理解している。 記号 Σ の意味と性質を理解している。 階差数列，和 S_n から一般項が求められる。 初項と漸化式から数列の一般項が求められる。 数学的帰納法を用いた証明ができる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
2 学 期	第1章 平面上のベクトル ベクトルとその演算 ベクトルと平面図形	ベクトルの大きさ，和，差，実数倍の計算ができる。 内積を求めることができる。 ベクトルの垂直条件を理解し，計算に利用できる。 位置ベクトルを定めて，図形を考察できる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
3 学 期	第3章 空間のベクトル	空間における図形を，1つの頂点に関する位置ベクトルで考察できる。	☐ ☐ ☐

学習方法	予習を前提とした授業を行う。予習では例や例題を参考に、練習問題に取り組むこと。復習にはアドバンス問題集を活用し、内容の定着を図ること。
------	---

評価方法	考查評価8割、平常評価2割で総合的に評価し、最終的に100点法の評点、および5段階で評価する。平常評価は課題提出、小テスト、授業への取り組み等で行う。
------	---